

選挙に対する意識等についての実態調査結果の概要

<p>問1 あなたは、4月8日の知事・県議会議員選挙にどれくらい関心を持ちましたか。</p>
<p>ア 『非常に関心をもった』(30.9%)と『多少関心をもった』(47.3%)とを合わせると78.2%になり、そのうちで『多少関心をもった』が最も多く約半数を占めている。</p> <p>イ 年齢階層別でみると、『非常に関心をもった』と答えた人の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向にあり、一方『まったく関心をもたなかった』と答えた人の割合は、年代が下がるほど高くなる傾向がみられる。</p> <p>ウ 世帯別でみると、1人世帯のみが『あまり関心をもたなかった』と『まったく関心をもたなかった』を合わせた割合が3割を超えている。</p>
<p>問2 あなたは、4月8日の知事・県議会議員選挙で投票しましたか。(期日前投票及び不在者投票も含む。)</p>
<p>ア 『投票した』と回答した人が、男性が82.0%、女性が82.4%であり、実際の投票率(知事選68.53%(男68.18%、女68.84%)、県議選69.45%(男69.10%、女69.76%))よりもかなり高くなっている。</p> <p>イ 年齢階層別でみると、20代前半が61.7%と最も低く、次いで20代後半が69.6%となっており、年齢階層が高いほど投票率も高くなっている。</p> <p>さらに男女別でみると、投票率が最も低いのは、20代前半の男性(59.6%)であるが、投票しない理由(問7関連)をみると、『誰を選んでも政治はよくなるから』(20.0%)と『その他』(20.0%)という回答が最も多くなっている。</p>
<p>問3 投票に対してはどちらの考えが近いですか。</p>
<p>ア 『投票することは国民の権利だ』(51.7%)と『投票することは国民の義務だ』(48.3%)は同程度の割合となっている。</p> <p>イ 年齢階層別にみると、30代のみ『投票することは国民の権利だ』が6割以上を占めている(63.6%)。</p>
<p>問4 投票に行くこととしたきっかけは何ですか。</p>
<p>ア 『自分の意思(支持する候補者がいたなど)』が男女ともに最も多かった(男性80.5%、女性69.6%)。なお、女性では『家族に言われたから』のポイントが高かった(13.7%)。</p> <p>イ 年齢階層別にみると、『家族に言われたから』と答えた人の割合は、年代が下がるほど高くなる傾向がみられる。</p>
<p>問5 4月8日の選挙で誰に投票するかを決めるのに役立ったものが次の中にありますか。あればいくつでもお答えください。</p>
<p>ア 『選挙公報』が男女ともに最も多く(男性14.4%、女性14.0%)、次いで『新聞、テレビ、ラジオの選挙報道』(男性14.2%、女性12.9%)であった。</p> <p>イ なお、男性では『政党、候補者、後援会の推薦や依頼』のポイントが高く(7.2%)、女性では『家族の話し合い』のポイントが高かった(11.4%)。</p>

<p>問6 投票をしないことを決めたのはいつ頃ですか。</p> <p>ア 投票をしないことを決めたのは『選挙期間に入る前から』が最も多く36.3%を占めている。</p> <p>イ 年齢階層別にみると、『選挙期間に入る前から』が20代前半以外の年代においては3割前後であるのに対し、20代前半は57.8%を占めている。</p>
<p>問7 投票しなかった理由は何ですか。いくつでもお答えください。</p> <p>ア 投票しなかった理由は、『誰を選んでも政治はよくなるから』(21.4%)、『候補者の政策や人物がよくわからなかったから』(19.9%)、『ほかに用事があったから』(19.2%)の順となっている。</p> <p>イ 前回平成15年と比べると、『候補者の政策や人物がよくわからなかったから』という回答の比率が男女とも増加している。</p>
<p>問8 用事の内容は何でしたか。</p> <p>『仕事』が最も多く74.5%を占めている。</p>
<p>問9 期日前投票を利用されなかったのはどのような理由からですか。</p> <p>『期日前投票をする時間がなかったから』が最も多く36.7%を占めている。『期日前投票ができることを知らなかったから』、『期日前投票の手続きが面倒そうだったから』、『期日前投票所に行くのが面倒だったから』の理由がそれぞれ1割前後を占めている。</p>
<p>問10 どういう状況になれば投票に行きますか？もしくは投票に行きやすくなると思いますか？あてはまるものを2つ以内でお答えください。</p> <p>ア 『当選後の候補者の活動の成果を検証する場ができる』(21.5%)、『自宅などからインターネットや携帯電話などを使って投票できるようになる』(19.9%)の順となっている。</p> <p>イ 年齢階層別にみると、『自宅などからインターネットや携帯電話などを使って投票できるようになる』と答えた人の割合は、年代が下がるほど高くなる傾向がみられる。</p>
<p>問11 投票所・期日前投票所の改善は次のうちどれが最も必要だと思いますか。</p> <p>『投票所の雰囲気をよくする』が最も多く28.8%を占め、次いで『投票所を増やす』が21.5%を占めている。</p>
<p>問12 誰に投票するかを決める際の情報や判断材料として、今後どのような情報を増やして欲しいと思いますか。あればいくつでもお答えください。</p> <p>ア 男女とも、『公開討論会』という回答(男性31.4%、女性27.9%)が最も多く、次いで『マニフェストなどの印刷物』(男性26.6%、女性27.3%)という回答が多くなっている。</p> <p>イ 『別に情報を増やす必要はない』との回答(男性9.8%、女性14.3%)も1割程度あり、現在は禁止されているインターネットによる選挙運動を求める回答(男性9.3%、女性6.4%)を上回っている。</p>

問13 4月8日の知事・県議会議員選挙において、明るい選挙推進協議会や選挙管理委員会では、「きれいな選挙をしましょう。」とか、「必ず投票しましょう。」というような呼びかけをしましたが、見たり、聞いたりしたものが次の中にありますか。あればいくつでもお答えください。

『テレビ、ラジオ』、『新聞』、『県や市町村の広報』、『ポスター』、『広報車』によるものがいずれも10%を超えている。

なお、各種の情報媒体のうちテレビ、新聞、ラジオなどのいわゆるマスコミが高い割合を占めている。

問14 選挙では、当日用事があって投票に行けないと見込まれる方のために、「期日前投票」という制度がありますが、この制度を知っていますか。投票方法も知っていますか。

ア この制度があることを知っている人は、97.4%を占めており、ほとんどの人が知っているが、投票の方法となると知らない人が39.8%を占めている。

イ 年齢階層別にみると、『制度があることを知らない』と答えた人は20代前半が最も多く1割程度あり、『制度があることは知っているが投票方法は知らない』と答えた人は20代が多く5割程度あった。

問15 期日前投票制度について、どのような方法で知りましたか。

ア 『以前実際に期日前投票をした』以外の理由では、『テレビやラジオ番組で知った』が30.5%と最も多かった。

イ 年齢階層別にみると、『家族から教えてもらった』と『友人知人から教えてもらった』が20代においては、他の年代と比べ多くを占めている。(それぞれ2～3割と1割)